

日工同窓会2018年度総会開催



第437号

2019年5月31日発行
日工同窓会広報委員会
編集責任者

瀧澤 之靖
発行人 細金 敦

日工同窓会事務局
日工同窓会館
〒317-0077
日立市城南町5丁目14番13号
TEL (0294) - 21 - 5237
FAX (0294) - 21 - 5241
E-mail:
dosokaij@net1.jway.ne.jp
http://nikkoudousoukai.net/

印刷所
大成印刷株式会社

去る3月30日(土)日立シビックセンター、マープルホールにおいて、2018年度総会を開催した。当日は寒の戻りもあり、肌寒い気候ながらも多くの会員の参加を得た。

第1部は、松浦総務主査の司会進行で始まり、永村副会長の開会のことば、山崎会長のあいさつ、星代表副会長の各委員会の活動報告と永村次期代表副会長より2019年度活動方針の説明があった。続いて在会30年・15年の表彰、特別功労者表彰があり、被表彰者を代表して蝶野桂司氏(74卒・神奈川)が謝辞を述べた。そして日専校の相良浩氏(70卒)の指揮で校歌を声高らかに斉唱し、永村副会長の閉会のことばで、第1部総会を終了した。

会長あいさつ

おぼんです。本日は休日のご多用の中、本総会にご出席いただき、ありがとうございます。昨年(明治150年)の年でした。近代以降の日本に関して、1868年の

今号の主な内容

2018年度本部総会	1面〜4面
2018年度支部総会	5面
代表副会長交代・新任副会長	6面
京浜地区ボウリング大会	7面
日専校野球部	7面
学校だより	8面〜9面
自分を元気にする方法	10面
2018年度104回卒業生	11面
本部会員の頁	12面〜15面
日専校の主な行事予定	16面
会員の消息	17面
日専校新入生募集・編集後記	18面

明治維新からの150年間で、50年間ずつ3つに分けて理解しています。

まず、維新から50年後の1918年の前後に、我が日立製作所ほか、国産のモノづくりの会社がたくさん生まれました。日本が西洋の技術から独立して、自分たち独自の力で工業製品を作り始めた時期に当たります。

そして、明治100年の1968年、日本は国民総生産(GNP)で、ドイツを抜いて世界第2位になりました。白黒テレビ、洗濯機、冷蔵庫の三種の神器の普及、その後、カラーテレビ、クーラー(エアコン)、カー(車)の3Cが続き、高度成長期を迎えたわけですね。

ちなみに、少し前の1963年に日工同窓会館が完成し、第1回技能五輪全国大会に日専校卒業生が出席



同窓会ホームページはスマートフォン等からも上記のQRコードを読み取るだけで簡単にアクセスが可能です!

しました。翌年1964年は東京オリンピックの年ですが、科技高の第1回入学式も行われています。日本が科学技術立国としての地歩を築き、自信をつけた時期に当たります。

そして現在。平成時代の失われた20年を乗り越え、日立はグローバル企業としてIoTを活用し、製品販売からより顧客の課題解決に主眼を置いたサービス、ソリューション事業を伸ばしながら、さらに発展しつつあります。

同窓会100周年を間近に控え、これからの私たちの活動を考えていく上で、1987年に発刊された75周年の記念誌、「われら日立の底流たらん」を私なりに読み直してみました。ここで、日専校の設立と名称について、振り返ってみたいと思います。

第一は、徒弟養成所の設立背景です。当時、優秀な職人は一匹狼的で、他の会社を渡り歩いていました。小平社長は次のように考えました。「事業を成すには、何よりも人が大切。良い人材無くして、事業の発展はありえない。自らの手で、本当に」

(2頁へ続く)

(1頁の続き)

将来を背負って立つ人材を育成して
いこう。その結果、我が徒弟養成
所が開設されました。

徒弟という言葉は、今の私たちに
は分かりにくい言葉です。徒弟の弟
(てい)は、門弟の弟、弟子に通じ、
小平精神の後継者という意味が含ま
れています。

改めて、日専校の役割とは何で
しょうか？

小平社長は、自前の人財を日専校
生として育て、その力量を高く評価
してくれました。

その期待に応えて、私たちは自分
達の技術・技能に磨きをかけ、基盤
即ち底流としてモノづくりの縁の下
を支え、100年を越えて1万人を超え
る門弟、弟子を輩出し、各職場で後
進を育てています。その重要な役割
を、これからも継続して果たしてい
く気概を持ち続けていきたいと思います。

第二は、日専校という名前の背景
です。徒弟養成所は、1928年に
日立工業専修学校と改名されました。
なぜ、通常の工業高校ではなく、専
修学校として、独自の教育内容を作
ろうとしたのか？次のように考えた
ようです。「理論と頭だけを作る学
校は一般教育でできるが、腕と技術
とモノづくりの精神を教える学校は
不足している。工業、モノづくりは、
腕と頭と精神と、3つそろわなけれ
ば立派にならない。」

通常の工業高校にない、企業人に
必要な、より実践的な教育を織り込
もうとしたのです。

現在も、実習内容の充実、各種
技能検定への挑戦、工場体験実習な
ど、各所にこの考え方は活かされて
います。今後とも、時代の流れを先
取りし、ITも活用しながら強化し
て、一層の教育レベル向上に努めて
参ります。

最後にお願ひです。諸先輩の皆様
機会を作つて成沢の母校に足を運ん
でください。

例えば、朝10時頃ご来校いただき
実習場や寮、校内を見学し、12時前
から始まる昼食を、生徒と一緒に取
りませんか。勤続10年、15年、30年
などの節目、還暦、古希のお祝いの
タイミングなどを利用し、同期の方
で声を掛け合つてお越し下さい。
教職員、生徒一同お待ちしております。
以上です。本日は、宜しくお願ひ
致します。



各委員会の

活動報告および

2019年度活動方針



星代表副会長

活動報告

「総務委員会」

6月16日、支部長研修会を同窓会館で開催。各支部の現況報告後、「時代に合った同窓会のあり方」をテーマにグループ討論しました。

また、遠隔支部を含めて21支部を訪問し、勤労関係者を含めて懇談するなど支援に努めました。

科技高同窓会50周年記念行事、その他行事に出席し、科技高同窓生と意見交換、交流を行いました。

100周年記念行事準備委員会にて、記念総会、記念誌等を具現化しました。

「企画委員会」

9月22日、事業所配属から3年経過した女性会員と、これから事業所実習を控えた3年生女子生徒との交

流会を初めて開催しました。

10月20日、支部役員研修会開催。支部会計幹事を対象とし集金方法運用管理について研修会を実施しました。

「広報委員会」

会報431号く436号の6号を発行。技能五輪沖縄大会取材、メダリスト座談会、日専校に関する記事を増やし生徒の活躍がみえる記事にしました。

「地区活動委員会」

2月2日、第11回地区活動連絡協議会を開催し、地区活動の現状と課題について討論を実施。6地区に対し、支援金を支給しました。

「本部会員運営委員会」

・総務小委員会
全体の円滑な運営を図り、主査会議、運営会議を各2回実施しました。

「企画小委員会」

わが宿の集いを6月22日と11月16日に開催、第21回N S会、ゴルフコンペを10月10日、日立ゴルフで開催しました。

「編集小委員会」

会報431号く436号の6号の本部会員の頁を担当し、地区活動や同期会などを掲載しました。

「地区活動小委員会」

7月6日、地区活動小委員会を開催、1月25日、通信員会議を開催しました。

「事務局・会計」

各委員会の活動を支援し、同窓会

ホームページをタイムリーに更新しました。

2019年度活動方針



永村新代表副会長

2018年度の活動報告に続き、2019年度活動方針についてご報告させていただきます。なお、本2019年度活動方針につきましては、先に開催されました役員会で、承認されたことを報告させていただきます。

初めに、2019年度活動方針です。

「企業は人なり」の理念に基づき、日立創業と同時に設立された母校日専校の卒業生であること、日工同窓会の会員であることに誇りをもち、会社・社会に貢献すべく、2019年度の活動方針を下記の通り定めま

す。
基本理念…「われら日立の底流たるらん」の理念のもと、日立創業の精神「和」「誠」「開拓者精神」を継いで、「モノづくりの心」を後進に伝えます。

(3頁へ続く)

(2頁の続き)
活動方針

- (1) 長き良き伝統により培われた会員相互の強い絆をもって、職種で横糸の役割を実践する。
- (2) 「次代を担う人材」を育成しつつ、技術・技能を研鑽し、自らの力量を高める努力をする。
- (3) 支部及び地区同窓会活動に更なる支援をし、全会員が活発に活動できる組織をめざす。
- (4) 母校・日専校と更なる連携を強化し、後進の育成に努める。
- (5) 100周年記念事業を積極的に展開する。

以上の活動方針にそって、2019年度、各委員会で活動を展開してまいります。

以下、各委員会ごとの活動予定を説明します。

「総務委員会」

役員会、支部長研修会などをタイムリーに開催し、会員の意向を把握して諸問題に適切かつ迅速に対応できるように運営します。

事業環境、会員構成が変化する中、会員支援の方法を協議し対応を図ります。

「企画委員会」

- (1) 本部と支部の相互交流(研修会等)の継続実施により、同窓会活動の活性化を図ります。
- (2) 支部の無い事業所に在籍する会員の実態調査、活動支援ならびに遠

隔支部支援を図ります。

(3) 支部と連携し、事業環境の変化に応じた支部活動を支援します。

具体的には、支部長研修会、支部役員研修会などの研修会、支部活動支援などの個別な支部支援を通して、同窓会活動の活性化を図ってまいります。

「広報委員会」

会報437号く442号までの6号を定期的に発行します。また、第57回技能五輪全国大会の取材およびメダリストとの座談会、現役・本部会員の活躍支部や地区活動を会報へ掲載し、同窓会のPRを行います。

また、日専校との連携を強化し、「日専校の今」が分かる記事も継続的に掲載していきます。

「地区活動委員会」

(1) 各地区の活動がより活発になるよう、地区と本部間の連携をはかり、地区活動体制の強化と支援を推進します。

(2) 年1回開催の地区活動連絡協議会を軸とし、各地区活動のレベル合わせを行い、課題をもつ地区に対しては、協議を基に課題対策となるよう推進します。

「本部会員運営委員会」

本部運営委員会の基本方針は、同窓会活動を通して「社会に貢献する」とともに、会員各位が「シルバークラブを楽しむ」ことであります。

「わが宿の集い」を前期は6月、

後期は11月に開催します。

「第22回NSコンペ」を10月10日に実施いたします。

また、広報委員会と協力をし、同窓会会報に本部会員の活躍の記事掲載を継続してまいります。

「事務局・会計」

- (1) 各委員会と協力し、同窓会活動の活性化を図ります。
- (2) 持続可能な同窓会運営費の配分の

被表彰者代表謝辞

視点で、変化に対応した予算を提案します。

(3) 日工同窓会ホームページの鮮度維持に努めます。

尚、ホームページは、スマートフォンやタブレット端末からもアクセス出来る様になりましたので、ご利用ください。

以上、ご報告とさせていただきます。



代表謝辞 蝶野 桂司 (74 卒・神奈川)

本日ここに、ご来賓の皆様をはじめ、同窓会会長、諸先輩、そして後輩の皆さまのご臨席のもと、私達同窓会在会30年ならびに在会15年表彰、そして特別功労表彰者がこの栄誉に浴すること



特別表彰 清水頭孝悦 (65 卒・国分)

とは、誠に光栄の極みであります。この栄えある日を本日迎えられたのも、ひとえにご指導・ご鞭撻をいただきました恩師の皆さま、会社幹部諸先輩方、そして後輩の皆様のご協力

の賜物と心より感謝申し上げます。ここに、同窓会在会30年、第74回卒業生を代表して、誠に僣越ではございますが、御礼の言葉を述べさせていただきます。

私達74回生143名は、昭和61年4月、大きな夢と希望と少しの不安を抱きながら、桜咲く成沢の丘で、先輩方のおくさんの笑顔に迎えられ、日専校での生活をスタートしました。この時、桜並木はまさに満開で、こと春遅い北海道出身の私にとっては、まさに希望に満ち溢れた「桃色」の入寮・入学でありました。

さて、私達が入学した昭和61年を振り返りますと、世の中では、ファミコンの「ドラクエ」やカメラの「写ルンです」が発売され、社会状況としては、「男女雇用機会均等法」の施行により、女性の活躍の場が増え始め、ワレン・ボディコン・館ひろしが流行り出し、この時期が、後に『バブル期』と呼ばれる好景気の始まりでした。ちなみに、この年の流行語大賞は「新人類」で、その他「おニヤン子」「ブツツン」「芸術はバクハツだー」などが流行った時代でした。そんな時代に、私達は夢と希望を抱きつつ、新たな一歩を踏み出しました。しかし、「桃色」だった時間は僅か1日で終焉を向かえ、ここから2週間の「灰色」の集合教育が始まりました。

明るいうちから「おぼんです」、食

(3頁の続き)

堂では大きな声で頭を下げて「すみません。しょうゆ、お借りしてもよろしいでしょうか」、このゾーンは会釈のみで声は出さず、スリッパの音を立て



在会 15 年表彰 長山 観士 (89 卒・山崎)



在会 30 年表彰 樽井 久明 (74 卒・水戸)

ずに歩け、浴槽の中では正座等など、沢山のルールを覚えなくてはなりません。そして、夜の「反省会」ではその日、反省すべき点があっても無くても、何とか反省点をひねり出し、正座し、目をつぶり、結びを「はい、すみませんでした」と叫び、歯を食いしばってご審議いただきました。初めて親元を離れ、寮生活に飛び込んだ15歳の私達は、その常識を超えた緊張感と、理不尽なルールに、ただただ、今日1日が無事に過ぎることを願う毎日でした。

そんな峻烈な春をスタートした私達は、その後も、早朝のランニング、見知らぬ方へも挨拶の励行、食堂までの坂道ダッシュ、敬語での会話厳守、最寄りのスーパーへの買い出し、2槽式洗濯機の奪い合い、などを通して、ここで生き抜く術を徐々に身に付けていきました。その他、寮内を幾ら探してもどうしても見つからない「因数分解器」や、朝起きてひと時だけヒーローになれた「マジックマン」、「歩く会」と言う名の徹夜の山登りマラソンなど、様々な経験をさせていただきました。

この1年間は、我々の伝統ワード「1年地獄、2年天国、3年神様」の通り、これまでの人生の中で最も強烈で、生涯忘れ得ぬことの出来ない大変貴重な「地獄」の経験をさせていただいた1年でした。

時は過ぎ、私達がようやく「神」になれた3年の春、今度はいよいよ我々

が指導する番になりました。しかし、この年から、伝統の「反省会」が廃止され、新たな施策「TODAYトキキング」なるものが施行されることになりました。この施策は、その名の通り、今日1日の出来事・感じた事を楽しく会話する形式というものでした。流石に、当時の私達3年生はこれを素直に受け入れることは難しく、不平不満の嵐となりました。

しかし、受入れにあたり、寮監室にて、当時の加藤校長先生から直々に託された「君達で歴史を変えて欲しい」の真つ直ぐなお言葉に、皆様に感銘を受け、指導員と共に悩み、議論を重ね、「楽しさだけでなく、俺達が学んできた、集団生活で守らなければならないこと、相手を敬い感謝する心、自らを厳しく律する姿勢の大切さなどを、対話に取り入れよう」と一致団結しました。その結果、五月連休後、新入生を一人も脱落することなく迎えることができ、これは未だかつて無かった事と、先生方から沢山のお褒めの言葉をいただきました。と同時に、私達は何とも言い難達成感と、この同期であったからこそ実現できた素晴らしい成果であったものと、その喜びを分かち合ったことを今でも覚えております。

そんな様々な経験を経て、私達は日専校を卒業し、国内の事業所やグループ会社へ配属となりました。職場配属後、各同窓会支部では、あんなに怖かった先輩達はウソのように優しく、すぐ

に私達を温かく歓迎していただきました。

そして、30年が経過した今日、我々同期生は正に職場の核となり頑張っている人、管理職として組織をまとめている人、海外勤務や事業変革のため日立を離れた人など、様々な人生を歩んでいると思います。

さて、今般我々企業を取り巻く環境は、急速な技術革新により、かつてない変革期を迎えております。そして偶然にも、「新人類」と呼ばれた私達74回卒は、平成最初の新社会人となり、平成と共に30年を歩み、そしてまた、本年を節目に新元号となる新たな時代へと進もうとしております。

こんな時代だからこそ、我々日工同窓生は、日専校で培った「体力、精神力、人の絆」を礎に、そして、「社史」にて金澤先生から懇切丁寧に教えていただいた「和」「誠」「開拓者精神」を胸に、引き続き「我等、日立の底流たらん」の精神にて、今後も精進していくことをお誓い申し上げます。

最後に、本日もこうして在会および特別表彰を授かり、更に久しぶりに友と再会する時間を与えていただけましたことに厚く御礼を申し上げます。受賞者代表謝辞とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

平成31年3月30日

第74回卒業生代表

蝶野 桂司



在会 30 年表彰された 74 回卒の皆さん

2018年度支部総会が盛大に開催される!

多賀支部



- 開催日：2019/2/22
- 参加者：80名
- 開催場所：要害クラブ

国分支部



- 開催日：2019/3/1
- 参加者：71名
- 開催場所：要害クラブ

日立支部



- 開催日：2019/3/22
- 参加者：260名
- 開催場所：ホテルテラス ザスクエア日立

佐和支部



- 開催日：2019/4/26
- 参加者：139名
- 開催場所：クリスタルパレス

日研支部



- 開催日：2019/4/5
- 参加者：25名
- 開催場所：(日研) オアシス

大みか支部



- 開催日：2019/4/17
- 参加者：138名
- 開催場所：泉山ホール

電線支部



- 開催日：2019/4/19
- 参加者：15名
- 開催場所：杉の内クラブ

水戸支部



- 開催日：2019/3/15
- 参加者：99名
- 開催場所：クリスタルパレス

那珂支部



- 開催日：2019/4/11
- 参加者：94名
- 開催場所：クリスタルパレス

山崎支部



- 開催日：2019/4/4
- 参加者：14名
- 開催場所：事業所ミーティングルーム

豊浦支部



- 開催日：2019/4/12
- 参加者：17名
- 開催場所：杉の内クラブ

日高支部



- 開催日：2019/3/15
- 参加者：64名
- 開催場所：ホテルテラス ザスクエア日立

下館支部

- 開催日：2019/3/23
- 参加者：22名
- 開催場所：そば処まるじゅう

建機支部



- 開催日：2019/4/19
- 参加者：26名
- 開催場所：建友クラブ

土浦支部



- 開催日：2019/4/23
- 参加者：42名
- 開催場所：事業所会議室

桜川支部

- 開催日：2019/4/10・17
- 参加者：20名
- 開催場所：事業所会議室

代表副会長交代

離任あいさつ



星代表副会長

ことです。会えばいろいろな案が出てきます。思考と試行を継続していつてください。

私の好きな言葉に「異体同心」という言葉があります。「異体」とは、身体、性別、地位の違いを指します。「同心」とは、同じ志に立って、語り合うことです。次元は違うかもしれませんが、「対話」は善です。連帯を築き団結を創るからです。「拒絶」は悪です。分断を招き破壊をもたらすからです。まず会うこと。そして話すことです。相手と違う面があるのは当然です。しかし、話し合えば、違いがあっても信頼が芽生える。会社生活でも同じです。どうか「異体同心」の心で、活動を展開していつてくください。日工同窓会もあと2年で100周年を迎えます。今後は、100周年実行委員会の一委員として微力ながら活動をさせて頂きます。最後に、皆様のご健勝、ご多幸、そして、日工同窓会の益々のご発展をご祈念いたしまして、代表副会長退任の挨拶とします。

就任あいさつ



永村代表副会長

新緑の候、会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

2019年度代表副会長就任にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

昨今、同窓会員を取り巻く環境は、劇的に急速に変化して来ています。同窓会としても、この速い変化に対応して行かなければなりません。特に、分社化や事業の譲渡、移管など、会員の皆様の働く環境は大きく変化し、仕事にも同窓会活動にも少なからず影響をしていると感じています。

同窓会としては、変化する環境に対応していくために、現在の横の繋がりを更に強化出来る様に取り組みでまいります。

また、後2年で同窓会は100周年を迎えます。今までの100年間を振り返りつつ、次の100年に向けて同窓会の在り方、より良い活動の方法などを考

察し直し、変化を恐れず活動してまいります。

100周年記念行事の準備は、昨年までの準備委員会の名称を、今年度は記念行事実行委員会に切り替え、より詳細で具体的な事業計画、準備ができる組織としました。現在、着々と実施に向けて進んでおります。すでに施設などについては予約を完了しているところもあります。

当日は、会社幹部をはじめ、関係各所の方にご来賓として参加のお願いもする予定です。

2020年度活動開始時に、会報等を通じて具体的にお知らせいたします。

最後に、皆様の益々のご健勝とご多幸を祈念して代表副会長就任の挨拶とします。

新副会長あいさつ



細金副会長

2014年度より5年間、本部役

員として企画委員会を担当し、主に研修会の企画・運営を行ってきましたが、2019年度より副会長に就任し、広報委員会を担当させていただきます。

広報委員会の主な会務は、会報やホームページ作成による、正会員・本部会員・準会員(日専校生)に関する情報の発信です。特に、年6回発行している会報は、本部、地区、支部、日専校の情報を提供する手段として、1950年から約70年も作り続けられている重要な資料です。

近年、会員が所属する会社の事業再編や、情報セキュリティ強化によるメール環境の変化などにより、会報作成にも影響を及ぼしております。しかし、広報委員を中心に、変化に対応した最適な方法を見つけ出し、会員に喜んで読んでいただける会報作りに取り組みしていきます。

2021年には、100周年記念誌を発行するべく、本部会員運営委員会と共に準備を進めています。会報を作成しながらの作業で、今まで以上に多忙になりますが、他の委員会とも連携しながら完成させたいと考えますので、会員の皆様のご理解とご協力をお願いします。



京浜地区4支部

合同ボウリング大会

3月23日(土)、日工同窓会本部より星代表副会長を招き、神奈川、京浜、小田原、厚木の4支部合同で、29名の参加によるボウリング大会、懇親会を開催した。恒例行事となりつつある本行事は、昨年度神奈川支部主催にて秦野市で実施したが、今回は厚木支部が主催となつて、神奈川支部からの御指導と御協力をいただきながらの開催となった。



参加者全員で記念撮影

『もらって嬉しい豪華景品』を用意し、懇親会会場での表彰式で盛り上がった。

優勝：石井 雅人氏(79卒)

スコア 310

準優勝：大口 拓也氏(100卒)

スコア 296

3位：小野 幸夫氏(65卒)

スコア 287

懇親会は、通常交流の無い、他事業所の会員と面識を持つことが出来る。若手会員の多い厚木支部だが、本行事を通し、他事業所の大先輩方から多くのことを学べた。会員に対し、今以上に有意義な場を提供出来る様、今後も務めていきたい。

厚木：89卒 武隈 秀一



日専校野球部後援会

同窓会員の皆様へ

『日専校野球部後援会』に対しまして、2018年度も下記報告のとおり同窓会会員の皆様より多くの支援金を賜りました。野球部スタッフならびに選手一同、大変感謝いたしております。

いよいよ2019年度シーズンも始まり、野球部は新たに1年生11名が入部し、2年生14名、3年生14名の総勢39名で夏の選手権県予選突破(甲子園出場)を目標に毎日練習に励んでおります。過日の春季関東大会の県北予選においては、野球部の活躍が4月16日付の茨城新聞で写真入りで大きく紹介されました。

また、本会の前身の『日専校を甲子園に送る会』から10年以上に亘り大変お世話になりました森幸直氏(57回卒：監事)と塚本孝夫氏(58回卒：会長)から、新役員として下記3名に引継ぐこととなりました。森、塚本、両氏には本会の発足から今日に至るまで数多のご尽力、ご支援をいただきました。本当にありがとうございました。

これまで同様、同窓会の皆様のご支援をお願いしたく、宜しくお願い申し上げます。

本後援会につきましての問合せは事務局までご連絡ください。

支援金の振込み口座

中央労働金庫(2963) 日立支店(176) 普通口座(5010868)
日専校野球部後援会(ニッセンコウヤキュウブコウエンカイ)
ご不明な点あれば、事務局までお問合せください。

日専校野球部後援会 会長 加瀬 友和(81回卒)
監事 吉田 和馬(82回卒)、松浦 駿一(83回卒)
日専校野球部 監督 飯塚 賢一 部長 白川 良美
後援会事務局(日専校内) 担当 白川(TEL 0294-28-5009)



加瀬会長 吉田監事 松浦監事

■2018年度 日専校野球部後援会 会計報告■

監事 作成者 2019年4月10日

1. 2018年度決算(2018年4月~2019年3月)

項目	内容	金額(円)	備考
歳入	繰越金	489,260	2016年度より繰越
	利息	3	
	支援金	334,784	
	(A)合計	824,047	

項目	内容	金額(円)	備考
歳出	①8月山形遠征(宿泊費)	375,840	
	②振込み手数料(①)	540	
	③振込み手数料(*)	324	
	(*)後援会費の返金:手違いで後援会に入金。		
(B)合計	376,704		
次年度繰越金((A)-(B))		447,343	

学校だより

2018年度卒業式

高等課程93名
専門課程9名が卒業

3月22日(金)早朝から快晴の中、第104回日立工業専修学校ならびに第52回科学技術学園高等学校卒業式が挙行された。ご来賓に科学技術学園高等学校 入江教頭、日立グループ各事業所及び三菱日立パワーシステ



機械科1組



電気科



専門課程



溶接科



機械科2組



バスケットボール部



バレーボール部

ムズ楸の幹部のご臨席を賜り、たくさんのお祝いと励ましの言葉をいただきました。山崎校長からは社会へ歩みだす心得として、『明るく元気に振舞う・感情よりも行動を優先させる・人々の出会いを自分の成長につなげる』の三つの言葉をいただいた。卒業生は、クラス担任の最後のホームルームを終え、各部活でそれぞれのセレモニーを行なつてから、それぞれの思いを胸に学び舎を巣立つた。今後の配属先事業所での活躍が期待される。

2019年度入学式

4月8日(月)日専校の桜が満開の中、日立工業専修学校ならびに科学技術学園高等学校の入学式が挙行された。本年度は高等課程73人、専門課程10人が晴れて日専校の一員となった。ご来賓に科学技術学園高等学校 入江教頭、日立グループ各事業所の幹部のご臨席を賜り、たくさんのお祝いと励ましの言葉をいただいた。山崎校長から、「日専校での生活に慣れて、社会人の準備として、良い習慣を身につけていきましよう。」「自分なりに目標を立てて、明るく、積極的に活動しよう。」「とアドバイスをいただいた。第二部として学年職員の紹介、今年度卒業生からの技能五輪紹介、考動アクションの紹介があり生徒保護者に本校のご理解を深めていただいた。

高等課程生は、前



入寮歓迎会



新入生誓いの言葉



入寮風景

日の晴天の中、校門の桜のトンネルを通過して入寮、先輩方の案内で自室に入った。翌日は寮アドバイザの生徒の案内で登校し、入学式に臨んだ。式の後はいよいよお別れである。夜には、入寮歓迎会が開かれ、先輩達や職員の方の暖かい歓迎を受けた。こうして、日専校での新しい期待に満ちた生活が始まった。



恒例のクラスマッチ

3月18日(月)恒例のクラスマッチが開催された。種目はサッカー、バドミントン、駅伝、剣道、バレー、バスケット、総力リレーの7種目である。駅伝の内容が『匠駅伝リレー』としてリニューアルした。チーム6名で第一、第二グラウンドとロードを8週、何処で何回交替しても良いルールとなった。その結果、走者は担当範囲を必死に走る事になり、休むまもなく、次の順番が回つてくるため、ほとんどの生徒が走った後倒れこんだ。優勝は、2年溶接科、2位2年機械科1組、3位2年電気科であった。また、専門課程生にとつては最後のレクリエーションであり、思い出に残る一日となった。

高等課程生は、前



優勝 2年溶接科



匠駅伝スタート

トヨタ学園交流会

3月11日(月)、12日(火)の2日間、2学年の生徒15名がトヨタ工業学園で交流会を行った。交流会ではグループディスカッションを中心に意見交換を行った。グループは、生徒会、寮、部活担当にわかれ活発な討論を行い、お互いに学びを得ることができた。また、トヨタの生徒が

主体となりA4用紙30枚を使い、どれだけ高いタワーが出来るかをグループで競い合い交流を深めた。トヨタの



ディスカッション



考動アクション唱和

生徒は、校舎内の交差点では必ず指差呼称を行い、階段の昇降時には手すりを使用するなど、2年生から工場実習を行なっているため、安全意識が高いと感じられた。また、大きな声での挨拶、団体行動に対しての規律がしっかりとして、35年前の日専校を思い出した。お互いに長所短所はあるが、共有できることは取り入れていきたい。生徒、職員にとっても非常に有意義な交流会となった。

金澤 章(71卒)



ペーパータワー作成



昼食

海外研修

2/21(木)～3/3(日)

今回もホームステイ研修先をニュージーランドに決め、より高い研修効果を得るために、以下の内容をプログラムに盛り込み、短期ながら充実した研修を行ってきた。

- ① 生徒一人一家族でのホームステイ「英語生活でのコミュニケーション」及び異文化体験
- ② 現地高校生とのスポーツ交流「同世代との国際交流」
- ③ 現地小学校で全生徒が日本文化

を英語で紹介「入念な準備による英語プレゼンを各自実施」
④ テーマ設定でのグループ自主活動「計画に沿って自力で現地見学、成果報告会を実施」
この研修で得た貴重な経験は、生徒の知識と世界観を確実に広げたと思う。卒業後、企業人としてグローバルに活躍する人材に大きく成長していくための糧となることを期待する。



マウントマウンガヌイカレッジでラグビー



ホストファミリーとの出会い



ホストファミリーとお別れ



タウランガ市長表敬訪問



小学校にて



タンギタイ川ラフティング

ジュニアマイスターの大幅増加

日専校のセールスポイントとして資格取得の強化を推進して2年目となった。各科の技能検定のほかに、危険物取扱者、機械検査、リスニング英語検定など学校全体として取り組んだ結果、ジュニアマイスター顕彰ゴールドは昨年度の9名に対し、今年度は34名と急増することができた。生徒の目標設定(考動アクション)の成果の一つと認められる。2019年度も、自分の将来を見据えた目標を設定して頑張ってもらいたい。

- 特別賞**・小川大樹、鈴木尋斗
ゴールド・《電気科》
 石橋優希、一葉涼太、海野舞桜、大部美歩、結束和輝、齋藤光児、澤畑晴輝、武井将馬、富田慎也、沼田朝陽、橋本紘明、引田仁志、藤田琉生、細谷侑大朗、松丸大我、麦倉峻太、安岡一樹、安田尚樹
ゴールド・《機械科》
 渡辺 薫、東根 凌
ゴールド・《溶接科》
 猪狩拓未、尾上孝太、籠谷拓海、上田雄大、川端里空、黒田翔大、須藤允護、高柳哲也、竹内利騎、野澤駿介、前田遼太、松本直也

離任者紹介



松浦 駿一先生

(83卒)

出身事業所・㈱日立ハイテクノロジーズ

この度、4月1日付で出身事業所の日立ハイテクノロジーズに戻ることになりました。

2016年4月に就任してから3年間、職員の皆様には大変お世話になりました。

また、担任という非常に貴重な経験もさせていただき、私自身にとっても大きな財産となりました。3年前は、事業所でモノづくりをしていた人間が日専校で人づくりをするとは、自分の人生の中で想像もしていないことでした。不安や戸惑いはありましたが、何とか生徒育成に微力ながら関わることができ、責任を果たせたと感じております。

私にとって、この学校はモノづくりの原点となる場所です。そんな私が卒業し、技能五輪や職場で様々な経験をさせていただき20年後、母校でモノづくりの楽しさや難しさを伝える事ができ、とても嬉しく誇りに思っています。最後になりますが、皆様のご活躍を祈念し離任の挨拶とさせていただきます。

3年間ありがとうございました。

就任者紹介



齊藤 慎先生

(77卒)

出身事業所・日立金

所属 電気基礎、電気実習

担当…電気基礎、電気実習
これからの日立グループと三菱日立パワーシステムズを担う生徒たちを育てていくことが私の使命です。また、モノづくりの楽しさ、大切さを生徒たちに伝えていきたいと考えております。皆様のご指導を宜しくお願い致します。



北山 紀之先生

(92卒)

出身事業所・㈱日立ハイテクノロジーズ

担当…普通旋盤・NC旋盤実習

今後の日立を担う生徒にもものづくりの楽しさを教え、自ら考動できる人材を育ててまいります。そして、若さを生かして日専校を盛り上げていきます。皆様のご指導宜しくお願ひします。



自分を元気にする方法⑭

伝える話し方・引き出す聞き方

会長 山崎 一平

今回は、2人など少数で会話をする時の話し方、聞き方のコツを紹介します。初めに自分の意見を分かりやすく伝える方法を、次に、悩みながら考えている相手から思いを引き出す方法を取り上げます。この両方の技を身につけて、会話力を向上させてください。

まず、伝える話し方です。この時の状況ですが、自分が言いたい事は既に持っています、それを上手に伝えたいと思っています。話す相手は、上長、顧客、あるいは小集団活動で議論している仲間などです。会議打ち合わせの中ですので、時間の制限もあります。手短かに、分かりやすく、自分の考えを伝えるにはどうするか？この時はPRR(プレップ)の話し方を使ってみよう。

これは、point reason example pointの頭文字を取った呼び名です。具体的には①結論②理由③事例④(再度)結論の順に話をします。これによって、自分の意思を端的に相手に伝えられます。この手法の重要な部分は、接続詞です。早速、例文で紹介しましょう。①私は、3つの中では、A案に賛成です。②何故ならば、生産に重要な要素3つ、すなわち、納期、コスト、品質の内の2つを満たせるからです。例えば他の案は、3つの中の1つは十分ですが、他の2つが不十分です。特に納期が心配な点は致命的です。従って、A案で実行すべきと思います。③セリフは短めに、きびきびと話す。そして、何故ならば例えば従ってという接続詞で、ポンポンとメリハリを付ける。この中では、2番目の「何故ならば」が特に大切です。他の接続詞を抜かしても、これだけは外さないで下さい。その理由は、「理由は2つあります。第一に：」

2つ目は「と言っても結構です。何故ならば」が口癖になれば、半分以上プレップ合格です。では、もう一つ練習をやってみましょう。あなたは青色が好きですか？この返事をプレップでお願いします。・・・(30秒後)「私は、青色が好きです」と、初めに結論を言います。そして「なぜならば青色を見ると晴れた空が浮かんで、気分がリフレッシュされるからです。例えば、普段使うコーヒークップや休みに着るTシャツも青い物を使っています。従って、私は青が好きです」

次に相手の思いを引き出す聞き方に移ります。この時の場面は、こういう感じ
1 あなたは上長で、部下と面談中です。部下は自分の仕事や能力向上の目標をどう設定しようかと悩みながら考えている。
2 あなたが、職場改善のアイデアを聞いています。部下は幾つかアイデアがありそうですが、決め手の案を持っていない。
1 職場で問題が発生したので、部下に再発を防止する解決方法はないかと聞いています。
部下は、悩みながら、話そうか、どうしようかためらっているようにも見えます。このような場合、あなた自身も明確な答えはなく、まずは、部下の思いや考えを引き出して、それから解決策を考えたい。そう、思っています。この時には、どういう聞き方をすればよいのでしょうか？一緒に考えていきましょう。

相手は悩み、迷っている時に、あせりは禁物で、辛抱が大切です。「20分間、時間を取る」と決めたら、その時間を相手にそのまま差し上げる気持ちで臨んでください。否定語(ダメ、ムリなど)を使わないで、上手に相槌、質問を発してください。「そういう考えもあるよね」「なるほど、どうして、そう思ったのかな」「もう一歩突っ込んで、具体的な施策で思いつくことは？」「来期やりたい事って何か？」などなど。部下は、頭に浮かぶ思いやアイデアをなんとか言葉にしようと、もがいています。筋道だつた話はできません。この会話の目的は、部下が、自分が本当にやりたい事、やるべき事に自分から気づくことです。あなたが正しいと思う事を部下に説得する場面ではありません。従って、ここで大切な心構えは、「相手の話を評価、分析、判断しながら聞く」としないことです。脈絡なく、話があつちへ行ったり、また戻ったりします。それでいい。悩んでいる頭の中から思いを引き出してあげ、頭が整理できれば、それで充分会話の目的は達成です。そう、思ってください。

人は、なかなか一人だけでは、考えられないものです。相手の質問や相槌に反応しながら、考えが纏まっていく。これは、いかなればコーティングの手法です。結論をあせらない。論理性を求めない。相手に合わせ、時間を与える。8割は相手が話す。自分は聞き役。これが、この場面での会話の要点です。

以上2つの場面を想定して、話し方、聞き方のコツを考えてきました。論理的に筋道立てて、短時間に相手に伝える話し方。そして、時間を掛けて、悩んである相手の気持ちに寄り添い、考えを引き出す聞き方。この2つを身につけると、「コミュニケーション力」は大幅に向上します。是非、実務の場で活用してください。

2018年度
第104回卒業生

・高等課程： 93名
・専門課程： 9名

諸先輩方の温かいご支援ご指導を
よろしくお願いいたします。

- ◎(株)日立製作所
原子力/エネルギービジネスユニット
日立事業所(7名)
池田 和磨 機械科
佐川 慎哉 機械科
川端 里空 溶接科
高柳 哲也 溶接科
三瓶 貴充 専門課程機械科
山形 海斗 専門課程機械科
和田連永飛 専門課程機械科
- ◎(株)日立製作所
インダストリアルプロダクツ
ビジネスユニット
電機システム事業部(5名)
齋藤 光児 電気科
細谷侑大朗 電気科
塚原 優一 機械科
猪狩 拓未 溶接科
馬目 翔海 溶接科
- ◎(株)日立製作所
サービス&プラットフォーム

- ビジネスユニット
制御プラットフォーム統括本部
(3名)
早水 唯 電気科
松丸 大我 電気科
籠谷 拓海 溶接科
- ◎(株)日立製作所
インダストリアルプロダクツ
ビジネスユニット
機械システム事業部(4名)
飯田 滯苑 電気科
高橋 遼 機械科
八木田朋矢 機械科
前田 遼太 溶接科
- ◎(株)日立製作所
鉄道ビジネスユニット
水戸交通システム統括本部(1名)
小川 大樹 電気科
- ◎日立オートモティブシステムズ(株)
佐和事業所(8名)
海野 舞桜 電気科
武井 将馬 電気科
橋本 紘明 電気科
櫻井 俊輔 機械科
田谷 将基 機械科
相楽 健太 機械科
山田 蓮 機械科
高村 裕也 専門課程機械科
- ◎日立オートモティブシステムズ(株)
厚木事業所(2名)
笹沼 正祝 電気科
石川 智章 機械科
- ◎日立オートモティブシステムズ(株)
群馬事業所(3名)
石橋 優希 電気科
三次 龍 電気科
安岡 一樹 電気科

- ◎日立オートモティブシステムズ(株)
山梨事業所(1名)
生田目直樹 機械科
- ◎日立オートモティブシステムズ(株)
福島事業所(1名)
荒井 智徳 機械科
- ◎(株)日立ハイテクノロジーズ
アナリティカルソリューション
事業統括本部 那珂地区生産本部(6名)
鈴木 尋斗 電気科
沼田 朝陽 電気科
一葉 涼太 電気科
江藤早紀南 機械科
鈴木 涼平 機械科
星野 秀正 機械科
- ◎(株)日立ハイテクマニファクチャ&
サービス(4名)
澤畑 晴輝 電気科
富田 慎也 電気科
安田 尚樹 電気科
山田 恭平 機械科
- ◎日立グローバルインフレーションズ(株)
多賀事業所(4名)
上垣外佳吾 電気科
引田 仁志 電気科
田村 佳稀 機械科
渡辺 薫 機械科
- ◎日立化成(株)
山崎事業所(3名)
安保 龍郎 機械科
草野 拓己 機械科
成田 拓未 機械科
- ◎日立化成(株)
下館事業所(2名)
稲田 悠希 機械科
宮原 拓真 機械科
- ◎日立建機(株)(8名)
宇佐美陽永 機械科
塩田 拓実 機械科
桐木平龍之介 機械科
櫻井 智哉 機械科
金久保裕人 溶接科
吉川 敦弘 溶接科
竹内 利騎 溶接科
沼井 隆太 溶接科
- ◎日立金属(株)
茨城工場(2名)
酒井 真希 機械科
藤原 旭 専門課程機械科
- ◎日立金属(株)
桶川工場(1名)
大下 雅樹 専門課程機械科
- ◎日立金属ネオマテリアル
土浦工場(1名)
田代 讓司 機械科
- ◎(株)日立産機システム
勝田事業所(1名)
結束 和輝 電気科
- ◎(株)日立パワートリニティ
(4名)
秋山 颯斗 溶接科
須藤 允護 溶接科
高橋 駿介 溶接科
椋井 優太 専門課程機械科
- ◎(株)日立ビルシステム
水戸事業所(5名)
大部 美歩 電気科
松田 陸 電気科
根本 龍人 機械科
齋藤 勇斗 溶接科
野澤 駿介 溶接科
- ◎(株)日立ニトランスミッション
大宮事業所(2名)
佐野 壱太 機械科

- ◎日立ニトランスミッション
沖元 大誓 専門課程機械科
- ◎(株)日立ニトランスミッション
加茂事業所(1名)
池田 雅哉 専門課程機械科
- ◎三菱日立パワーシステムズ(株)
日立工場(9名)
藤田 琉生 電気科
麦倉 峻太 電気科
中山凌之介 機械科
早坂 大樹 機械科
横山 透也 機械科
織田 侑樹 機械科
黒澤 洋寿 機械科
武部 龍汰 機械科
長根 大介 機械科
- ◎三菱日立パワーシステムズ(株)
高砂工場(5名)
上田 瑞樹 機械科
田中 皓大 機械科
西本 光輝 機械科
上田 雄大 溶接科
黒田 翔大 溶接科
- ◎三菱日立パワーシステムズ(株)
吳工場(2名)
尾上 孝太 溶接科
山藤 大輔 溶接科
- ◎三菱日立パワーシステムズ(株)
長崎工場(6名)
廣山優一 機械科
磯口 祥平 機械科
東根 凌 機械科
手束 博徳 溶接科
松本 直也 溶接科
宮本 大輝 溶接科
- ◎マクセル(株)
小野事業所(1名)
石川 竜也 機械科

2019年度本部会員運営委員会役員決まる

委員会名簿

担当委員会		氏名	卒回	地区名
本部会員運営委員会	主査	豊田 和明	49	日立北部 ひたちなか 日立中部 I 高萩 日立北部 日立北部 日立中央 日立中央 日立中部 I 日立中部 I 日立中部 II 日立中部 II 日立中部 II 日立南部 日立南部 東海 東海 ひたちなか ひたちなか 北茨城 高萩 日立十王 常陸太田 那珂 水戸
	副主査	佐藤 忠良	49	
総務小委員会	主査	荻野 常美	53	
	副主査	八百 律	58	
企画小委員会	主査	佐藤 政敏	51	
	副主査	大森 晴男	54	
	委員	生田 目寿男	51	
	委員	佐藤 茂次	53	
	委員	綱川 英雄	56	
	委員	鈴木 勝	56	
編集小委員会	主査	小島喜代一	48	
	副主査	佐藤 忠良	49	
	委員	石井 貞信	52	
	委員	上野 栄一	54	
	委員	戸村 紀一	58	
地区活動小委員会	主査	稲葉 栄次	48	
	副主査	関根 幸一	44	
	副主査	榊原 愛正	53	
	委員	長峰 省三	58	
	地区長	稲葉 栄次	48	
	副地区長	堀川 明治	49	
	地区長	中野 勇雄	48	
	副地区長	豊田 和明	49	
	地区長	小島喜代一	48	
	副地区長	榊原 愛正	53	
	地区長	上野 栄一	54	
	副地区長	益子 元好	48	
	副地区長	工藤 昭一	49	
	地区長	緑川 正和	48	
	副地区長	斉藤 清一	45	
	地区長	橋本 汎	46	
	副地区長	関田 芳巳	53	
	地区長	関根 幸一	44	
	副地区長	綿引 明	43	
地区長	矢萩 明	52		
地区長	花園 節夫	47		
地区長	金澤 和彦	51		
地区長	石田 正喜	52		
地区長	萩谷 利幸	53		
地区長	塙 洋史	49		

卒回代表者名簿

卒回	正	副
30	野澤 守	木村 弘司
32	佐川 幸	中島 正信
37	金沢 和男	藤沢 信哉
39	秋山 昇	和田 昭
40	石井 繁六	田子 進司
41	渡邊 康男	宮内 健
42	齋藤 實則	渡辺 一郎
43	綿引 明	山本 正美
44	関根 幸一	笹島 弘
45	田所 賢二	力丸 晴
46	大高 克一	渡邊 一雄
47	渡邊 勝好	川村 豊
48	宇原 勝巳	千田 政見
49	鈴木 利文	矢代 満男
50	関 猪一郎	萩野谷泰伸
51	金澤 和彦	生田 目寿男
52	石田 正喜	長嶋 忠光
53	榊原 愛正	佐藤 茂次
54	大森 晴男	大友 博
55	大森 一夫	豊田 英雄
56	内山 薫	高岡 秀美
57	石井 保	上遠野 徹
58	戸村 紀一	長峰 省三
59	小室 道男	白庭 晋一
60	藤田 幸寿	伊藤 吉二
61	児島 強	松崎 清英
62	星 憲一郎	江尻 弘人

今年度の主な行事

前期「わが宿の集い」	6/21(金)
前期「運営会議」	9/20(金)
NS会ゴルフコンペ	10/10(木)
後期「わが宿の集い」	11/15(金)
通信員会議	1/24(金)
後期「運営会議」	2/21(金)

* 会報をお届けする通信員の皆さまです *

地区名	範囲	手配り数	通信員		<()内は卒回、太字は新任>	
日立北部	川尻町～東滑川町	108	稲葉 栄次(48) 増子 正一(53)	加藤 弘明(50) 平塚 宣行(58)	佐藤 文夫(54) 渡邊 勝好(47)	堀川 明治(49) 矢代 満男(49)
日立中央	宮田町～会瀬町	62	杉山 貞男(51) 中野 勇雄(48)	篠原 勝(39) 助川 勇(52)	豊田 和明(49) 小澤 久基(46)	鈴木 章(51) 富田 耕司(52)
日立中部 I	西成沢町～塙山町	112	小島喜代一(48) 飛田 臣道(46) 金沢 勝美(48)	岡部 健(50) 榊原 愛正(53) 千葉 廣(46)	鈴木 敏行(52) 松本 勇(43) 神代 光昭(48)	赤津 芳明(48) 関 和則(52) 石井 貞信(52)
日立中部 II	金沢町～水木町	87	小室 正男(50) 桃谷 敏生(50)	佐藤 忠良(49) 益子 元好(48)	工藤 昭一(49) 上野 栄一(54)	菅原 捷夫(47) 円田 正徳(40)
日立南部	大みか町～下土木内町	47	緑川 正和(48) 井上 博恭(53)	斉藤 清一(45)	土田 忠(48)	佐々木正男(55) 川村 豊(47)
日立十王	十王町	39	金澤 和彦(51)	石井 浩(58)	後藤 繁(57)	篠原 一(51)
東海	東海村	45	檜村 光男(45) 丸山 一男(46)	萩野谷泰伸(50) 石井 新(52)	橋本 汎(46)	関田 芳巳(53) 高橋 重昭(41)
ひたちなか	ひたちなか市	106	住谷 勝男(49) 熊坂 弘(40)	佐藤 紘司(44) 山崎 勝己(50)	山口 静(55) 吉澤多喜雄(53)	綿引 明(43) 千葉 清志(49)
北茨城	北茨城市	35	神永 克雄(54)	鈴木章二郎(56)	矢萩 明(52)	
高萩	高萩市	36	山崎 輝雄(49)	花園 節夫(47)	佐久間 英(50)	長峰 省三(58)
常陸太田	常陸太田市	49	新村 米満(53)	後藤 憲(53)	石田 正喜(52)	小松 六男(52)
那珂	那珂市	27	萩谷 利幸(53)	菊本 康司(49)	平澤 公明(44)	
水戸	水戸市	18	塙 洋史(49)	押野 勝(59)		

第13回ヨンマル会(40卒)

湖岸に立つ「いこいの村涸沼」にて開催

第13回40卒同期会(ヨンマル会)の総会を2018年11月5日(日)「いこいの村涸沼」にて開催した。参加者は今までで最も少ない15人であった。欠席者の約60%が家族を含めた健康上の問題を抱え、歳を重ねるとに総会の在り方について、見直しを考えさせられた。

「ヨンマル会総会」は2年毎に開催している。今回もホテル手配のバスによる送迎で常陽銀行大みか支店前と勝田駅西口にそれぞれ集合した。

6年振りとなる「いこいの村涸沼」に11時過ぎに到着。受付を済ませて、玄関前で記念撮影を行った。昼食は全員天そば・うどん。午後1時には、恒例になったグラウンドゴルフのためコースに向かった。参加者は10人で2チームに分かれて挑戦し、和気あいあいのうちに終了した。入室後、さつそく

大浴場で汗を流す者、部屋でくつろぎ談笑する者、それぞれが総会までのひとときを楽しんだ。

夕方6時から米野幹事の総会で総会が始まった。まず、円田幹事長からこの2年間に逝去された清水丈、後藤昭則、三代信昌、中島竹雄、木村政義の各氏に対して哀悼の挨拶があり、1分間の黙とうを捧げた。次に、2年間の経過報告があつ



2年ぶりの再会、80を過ぎても益々元気だ

て、懇親会は木村力君による乾杯の音頭で開始された。初めにグラウンドゴルフの成績発表と表彰があり、今回は優勝者が2人出るという珍しい激戦に会場が湧いた。

酒が入って話も弾み、昔話にも花が咲き、にぎやかさはいつまでも続いた。お開きも近くなり、宮本君の指揮で寮歌と校歌を斉唱。熊坂君の発声で三本締め、きれいにそろって気分爽快。中津川副幹事長の閉会宣言で幕を閉じた。

二次会は幹事室とカラオケルームの二手に分れた。初めはほとんど皆がカラオケルームに行ってしまった。幹事室では閑古鳥が鳴いていた。得意のものを披露してから徐々に幹事室に流れてきて、同期の桜はにぎやかに、元気に、明るく、深夜まで楽しく話はずきなかつた。

翌日は朝風呂を浴びて、ゆっくり朝食、家族への土産などを買い求め、2年後の再会を固く誓ってホテルのバスで帰路についた。(石川治夫)

56卒 2回目の同期会開催

定年後、2回目の同期会を2018年5月19日(土)にホテル天地閣で開催した。

当初、31人の参加希望があつたが、残念ながら5人が仕事の都合、本人の体調不良などのため、急きよ欠席となり、26人の同期会となつたが、

初参加者が3人いて、新鮮さを感じられた。

当日は定刻前から参加者が次々と姿を見せ、会場内では、懐かしい仲間と挨拶を交わしての歓談や、受付時に配布したパンフレットの近況報告で仲間の様子を確認する風景が見られた。

開会に先立ち、全員で記念撮影後、堀江友次君の司会で、物故者12人に対する黙とうを捧げた。その後、渡辺幹事長から日専校の近況報告があり、藤直之君の音頭で乾杯し懇親会に入った。

順次近況報告を行ったが、周囲の同期生との会話が夢中で報告が聞き取れない場面が多々あつた。2時間の宴会は、ただただ会話が延々と続き、大いに盛り上がり楽しいひとときを過ごすことが出来た。



近況報告をしている人より周囲の仲間との話に夢中

最後は植田義巳君の指揮に合わせて全員が肩を組み合つて、校歌と寮歌を斉唱。鈴木進君の元気な三本締めで気分爽快。次回の再会を誓って、堀江君の閉会宣言で幕とした。(渡辺力栄)

〔編集小委員会の手違いで掲載が遅れたことをお詫びいたします〕

渋谷 吉弘氏 (48卒)

40年間にわたり少女バレーボール団を指導 「平成30年度日本スポーツ少年団顕彰」を受ける

渋谷吉弘氏(48卒)は、40年間にわたり少女バレーボール団を指導・育成したとして、2018年9月8日「平成30年度日本スポーツ少年団顕彰」の指導者表彰の盾を受けました。

バレーボールの指導をライフワークとして永年打ち込んで来られたことに感服します。以下は受賞に際し、氏が寄せた一文です。

日立市田尻バレーボールスポーツ少年団が昭和53年春に設立。子供達の指導育成を行い、その後、40年間



受賞の挨拶をする渋谷氏、40年間お疲れさまでした

団及びバレーボール連絡協議会等の指導、運営、普及に携わり実践して来ました。

団発足時は指導者も指導経験がなく、初めてのことで、団員達とボール遊びや親子対抗のドッチボール、バレーボールの試合で時間を過ごしました。

その後、各種スポーツ講習会、審判講習会、認定員資格取得等で学んだ内容を加味し、指導者達と共に団の指導方針を①挨拶②大きな声出し③友達同士の交流の3点を重点目標に決め、指導、運営しました。

また、年間を通じて、日立市以外の常陸太田市、筑西市、龍ヶ崎市の牛久市等のバレーボール少年団との交流大会に参加し、団員達の技術の向上やしつけの習得、指導者の心構えや指導法を体験し、会得していききました。

どんなスポーツでもやることは「有言実行」でしょう。しかし、団員の中には「無言実行」でプレーすることを信じている子供達もいます。丁寧な説明と指導をアドバイスし、繰り返し「有言実行」することでその意味を理解し、素晴らしいプレーヤーに育った時は指導者として、大

いに満足でした。

私が、こんなに長期間、指導者として携わってこられたのはバレーボールと子供達がとにかく好きなこと、楽しく、全力投球できたことと思っております。

これらの活動は団員をはじめ、会社の仲間、地域の方々、母親集団の理解と協力、連絡協議会等の各指導者、家族の協力あつてのことと感謝しております。

なお、同窓生の皆様でスポーツ少年団に関心ある方は各地区で活動している多種目の団が多数あるので飛

第1回48卒同期生ゴルフ会を開催

2018年11月15日(木)、かねてから同期会のつど要望が強かった



かねてからの同期会ゴルフコンペを実施

び込んで指導してはいかがでしょうか。

◇日立市田尻バレーボールスポーツ少年団の概要

- ・設立/昭和53年4月
- ・活動場所/日立市立田尻小学校体育館
- ・種目/小学生女子6人制バレーボール
- ・指導者数/団長を含み3~6人
- ・活動日/水曜日 夕方 土曜日
- ・卒団者数/約200人

「付記」2019年3月、同窓会から特別功労者としても表彰された。

同期会ゴルフコンペを、晴天のもと紅葉映える「勝田ゴルフクラブ」で開催した。水戸勝田地区・日立地区各6人、計12人が参加、ハーフ48以下を目標にスタート。距離、方向を問わぬナイスショットの連続で、3組それぞれの笑い声が続くプレーを楽しむことが出来た。

結果は地元の後藤君が予想通り80台前半のベストスコア優勝となった。それ以下の成績は非公開の声高く、推して知るべし!

朝は集合時間の30分前には全員集合が完了し、思い出話に花が咲いた。更に終了後の和気あいあいの懇親会では①継続して実施②回数は春秋の2回、次回は平成の最後を飾り3月27日とする③場所は水戸・日立の中間で勝田で実施、等々を全員一

致で決定し、再会を約して散会した。今回は初の試みであり、情報不足から連絡の届かなかつた方々にはお詫びすると共に、次回から参加を希望される方は、水戸勝田地区幹事・後藤、日立地区幹事・緑川に連絡をお願いします。(緑川正和)

7回目の旧桂村忘年会を開催

2018年12月18日(火)、城里町石塚にある居酒屋にて、旧桂村同窓生7人が参加、忘年会を開催した。この会は、今回で7回目。参加対象者は、現在、旧桂村に住んでいるか旧桂村出身の同窓生である。

今回の参加者は鯉淵進(50卒)、寺門守(52回)、高須至(53卒)、仲田仁史(55卒)、檜山一利(57卒)、今回初参加の青田活男(62卒)の各氏、そして三村忠男(55卒)である。年1回の行事のため、寺門氏は水戸市、高須氏はひたちなか市在住であるが、遠路にもかかわらず毎回参加している。昨年は飛び入りで、関根幸一氏(44回卒)も参加した。今回は突然に所用ができ、不参加となった。

会の進行は、会長の鯉淵氏より挨拶があり、生ビールで乾杯の後、参加者より1年間の近況報告を行った。予定時間は午後6時~9時で、各自の持ち時間は15分の約束で始まるが、

〔11頁1段冒頭へ続く〕

〔10頁5段最終行から続く〕

とにかく、皆さん話が大好きな方々ばかりなので、10時を過ぎても終わらなかつた。次回からは、さらに2人が加わる予定で、会の進め方の検討が必要である。

しかしながら最近では、皆さんのせいも、お酒の消費量が一気に減つて来た。頭蓋骨を外し脳ミソの清掃を行う大手術した方(本人の説明)もあり、くれぐれも健康に注意し、来年の再会を確認して散会した。(三村忠男)



同郷の仲間が集合、話題は尽きない

(お詫び) 前436号10頁の「わが宿の集い」本文末尾の執筆者が(54卒 大森晴男)とあるのは、(56卒 鈴木勝)の誤りでした。お詫びして訂正します。

第55回 本部会員運営委員会報告 (2018年度後期)

◇開催日 2月22日(金) ◇場所 日工同窓会館 ◇出席者 (卒回代表) 20人 (運営委員、事務局) 10人

1. 役員会報告

- (1) 2019年度の生徒数は、高等課程が3年生:91人、2年生:84人、1年生:73人、専門課程:10人で総数258人となる。
- (2) 寮の食事は、朝食:バイキング方式、昼:弁当、夕食:ケイタリング方式(配達)を行っている。
- (3) グランド脇にある「匠ロード」に呼称名「紅葉ヶ池」を再整備中。

2. 事務局報告

- (1) 本部会員入会状況:新入会員(77人)、退会者(43人)、総数(960人:2/15現在)
- (2) 2018年度総会:2019年3月30日(土)、シビックセンター開催予定、本部会員の代議員出席割当数(95人)(卒回別会員数の10%を目安に出席をお願いする)
- (3) 2019年度役員改選:卒回代表者及び運営委員会役員の改選有無の確認をお願いする。
- (4) 同窓会館利用状況:利用回数(61→58回)、利用者数(844→907人)利用の減少傾向から微増している。
- (5) 会費未納者対応:2017年/2018年の累計未納者136人に会報434号(12月)送付時に振込票を2019年1月を納入期限で再送付した結果、61人の方に納入戴いた。会報436号(2月)でも振込票を送付する。2017年と2018年未納者は、退会対象者(12人)となるので、事務局より地区長経由本人へ退会意志を確認する。
- (6) 2018年度本部運営委員会の予算実推は、2月22日現在(予算-実推=残金¥120,200)で予算内にて推移する見通しを得た。

3. その他

- (1) 同窓生の小説「谷川岳の残暑」(人見さとし)を紹介物語は、1960年谷川岳一の倉沢で発生した日立関係者4人が遭難した事故をモデルにラブストーリーなどを盛り込んだ展開となっている。
- (2) 「匠ロード」整備への協力をお願いした「匠ロード」整備中で池に魚(金魚、鯉など)を入れたので同窓生からの寄贈をお願いしたい。
- (3) 60歳定年後本部会員となっても、継続して働いている会員が多いため、平日実施の行事に参加できない。実施日を土・日曜日など検討必要ではと意見有り。豊田主査から支部長研修会等に本部会員の行事PRとして、参加し易い実施日を検討すると回答。本部運営委員会で、平日から休日への開催を検討する。
- (4) 同窓会の原稿は、「茨城新聞」へ投稿すると掲載される場合もある。まずは、原稿を事務局経由編集小委員会へ提出してほしい。

4. 各卒回活動近況報告(今回は偶数卒回が報告)

- ①32卒(佐川):2018年の4/5、多賀杏並木通りの「新富鮎」で9人で第70回総会(早生まれ卒寿)を実施した。・2019年の新年会は、24年間続いていたがインフルエンザの流行もあり中止とした。・2019年の4/5、「新富鮎」で6人で総会開催予定。
- ②40卒(石井):ヨソマル会の同期会は隔年実施で、第13回を2018年11月に「いこいの村潤沼」15人参加で実施。隔年実施で2019年は、実施予定はない。・同期有志でのゴルフ大会は、平成7年から平成28年まで21年間(42回)続

いたが参加者減少により42回をもって終了した。

- ③42卒(齋藤):平成30年に80才を迎えたので、国民宿舎「鵜の岬」で19人参加して「傘寿の会」を開催した。・同期有志でのゴルフ大会は、4人程度で実施している。
- ④44卒(関根):今年度は、同期会が実施されなかったが、第43回「わが宿の集い」の企画(講演、余興、作品展示)の全てに参画のため幹事会も3回実施した。
- ⑤46卒(大高):「ガマ会」は、幹事10人で2月毎に幹事会を実施している。・今年は、77才を迎えての「喜寿」の祝を同期会として4月に国民宿舎「鵜の岬」で開催を計画中である。
- ⑥48卒(桐原):隔年実施の第5回同期会は、2018年の4/5に丸市本館で24人参加開催。・同期会有志でのゴルフコンペ提案があり、2018年の11/15に12人参加で実施した。・次回からは、年2回(春、秋)開催する予定である。・2018年12/4に日立駅前で同期会幹事会(忘年会)を9人で実施した。
- ⑦50卒(萩野谷):昨年の11/26に第40回ゴーマル会ゴルフコンペをグランドスラムCCにて3組12人で開催し、佐藤一男氏が優勝した。2019年の3/25に第41回ゴーマル会ゴルフコンペをグランドスラムCCにて5組の参加者募集中。・旧国分の同期が、昨年の10/9~10に日光・鬼怒川一泊ドライブ旅行を実施した。2019年は、山形県の飛鳥を計画中で3/13に第1回打合せを実施予定。
- ⑧52卒(石井):2018年の10/10に「古希の集」の同期会を開催した。当時の担任だった行田先生を招待して17人の参加で楽しく実施。
- ⑨54卒(大森):2018年の5/25~26に日立高鈴GCでゴルフを5人参加、河原子「永野屋」に12人宿泊して一泊同期会を開催。・2018年の11/15に勝田GCでゴルフを7人参加で実施した。・2019年の2/19に五浦庭園C.Cで7人参加してゴルフの実施と2019年度同期会事業を計画した。
- ⑩56卒(渡辺):2018年の5月に3年ぶりに、第2回同期会を「天地閣」で26人参加して開催した。参加人数は、前回より17人減少したが、初参加者3人で新鮮さを感じた。・大みか同期会は、2018年6月に「南三陸・サクランボ狩」を10人参加で一泊旅行、10月に「鶴岡市湯の浜温泉」一泊旅行、11月に「奥日立きららの里」で「そば打ち体験」一泊旅行を実施して親睦を深めている。
- ⑪58卒(戸村):2018年の3/30にグランドスラムCCにて19人参加で第16回ゴルフコンペを行い、その夜は「須賀屋」に泊まり第4回同期会を21人参加で実施した。・2018年の9/28にグランドスラムCCにて18人参加で第17回ゴルフコンペを実施した。・2018年の12/4に第1回県南・県北対抗ゴルフ大会を目指したゴルフコンペを実施したが参加者が7人となり「普通のゴルフ」となった。・ゴルフコンペは、年2回が定着化し、次回は、3/29にグランドスラムCCにて第18回ゴルフコンペを開催予定。
- ⑫60卒(藤田):60卒は、「げんき会」として本部会員11人でスタート。2017年11月の第1回同期会で隔年の開催を決めたので、2019年中に第2回の同期会を開催予定。・11名中8名が継続して働いており、62才からの年金受給を受けて短縮勤務者も多い。・働く中でも体力増強のためにゴルフやウォーキングなど運動をしている。勝田マラソンで年代別8位に入賞した強者もいる。

日専校の主な行事予定 (2019.6.1~2019.7.31)

～ 応援して下さい！～ *各部とも新年度の活動が始まります。

バレーボール部	6/10(月)	全国高校総体県北地区予選	池の川さくらアリーナ
	6/20(木)	全国高校総体茨城県予選	下館総合体育館
卓球部	6/20(木)～6/22(土)	全国高校総体茨城県予選	
バスケットボール部	5/28(火)、5/29(水)	全国高校総体県北地区予選	さくらアリーナ
	6/1(土)	全国高校総体県北地区予選	日立商業
ソフトテニス部	6/7(金)	全国高校総体茨城県予選(団体)	水戸市総合運動公園
	6/8(土)	全国高校総体茨城県予選(個人)	水戸市総合運動公園
剣道部		全国高校総体茨城県予選	
	6/18(火)	男子団体	筑西市下館総合体育館
	6/22(土)	男女個人	筑西市下館総合体育館
サッカー部	6月～7月	県北4部リーグ戦	県北地区高校グラウンド
陸上部	7月13日(土)、14日(日)	県高校個人選手権大会	笠松運動公園陸上競技場
五輪部	7/31(水)、8/1(木)	若年者ものづくり競技大会	
		メカトロ職種	福岡市博多区マリンメッセ福岡
	7/27(土)	技能五全国大会旋盤職種2次予選	旋盤職種 日専校
野球部	6/1(土)～6(木)	珂北高等学校野球大会	高萩市民球場 他
	7/6(土)～7/24(水)	全国高等学校野球選手権茨城県大会	ノーブルホームスタジアム水戸 他

学 校 行 事

6/6(木)	避難訓練	7/5(金)	専門課程入学願書締切
6/8(土)	技能五輪旋盤県大会		2級普通旋盤・金型仕上げ技能士実技検定
6/15(土)	専門課程実習体験会②		3級電子機器組立て技能士実技検定
6/19(水)	寮祭	7/14(日)	3級電子機器組立て技能士学科検定
6/22(土)	ふれあい進路相談会①		3級普通旋盤・機械組立て技能士学科検定
6/29(土)	ふれあい進路相談会②	7/18(木)	3年機械科 技能照査学科試験
7/1(月)	専門課程入学願書受付	7/20(土)	高等課程体験入学会①
7/2(火)	3年機械科 技能照査実技試験	7/22(月)	高等課程体験入学会②
7/3(水)	野球部壮行会	7/23(火)	水泳大会
7/4(木)	3級旋盤・機械組立て技能士実技検定	7/27(土)、28(日)	技能五輪旋盤二次予選



<http://www.hitachi.co.jp/Div/tech-school/high/index.html>

会員の消息

結婚

おめでとつ
おめでとうございます



定年退職

くつろがたま
でした



下長根 誠氏 (62卒・電線) 19・1・31
 青山 光男氏 (62卒・国分) 19・1・31
 星 憲一郎氏 (62卒・下館) 19・1・31
 糸井 紀夫氏 (62卒・多賀) 19・2・28
 飛田 昌之氏 (62卒・大みか) 19・2・28
 鶴田 謙二氏 (62卒・大みか) 19・2・28
 佐川 裕二氏 (62卒・日立) 19・3・31

ご家族逝去

お悔やみ申し上げます

家族死亡

岩間 克義氏 (85卒・日立) 一尊父 19・1・4
 鈴木 義広氏 (69卒・日立) 一尊父 19・1・24
 飯村 正幸氏 (85卒・佐和) 一母堂 19・2・3
 大和田真央氏 (97卒・大みか) 一尊父 19・2・4
 大内 晴夫氏 (63卒・水戸) 一尊父 19・2・6
 我妻 正弘氏 (72卒・国分) 一母堂 19・2・7
 中河原光男氏 (74卒・佐和) 一母堂 19・2・16
 鈴木 幸徳氏 (70卒・日立) 一母堂 19・3・9
 佐藤 雅彦氏 (73卒・日立) 一尊父 19・3・13
 吉田 旭氏 (66卒・日立) 一尊父 19・3・15
 半谷 淳一氏 (85卒・佐和) 一母堂 19・3・21

436号お詫び訂正

5頁 銀賞 小泉 拓也氏
 誤：103卒、正：101卒
 8頁 電気溶接職種県予選
 写真左より
 誤：角守、宮嶋、山本
 正：山本、宮嶋、角守
 14頁 社内表彰
 誤：伊東 真広氏
 正：伊藤 真広氏
 本部会員逝去
 誤：楡井 康之氏 (39卒)
 正：楡井 康之氏 (34卒)
 誤：矢田部庄一氏
 正：谷田部庄一氏

2019年度 工場担当

◎正 ○副

氏名	工場担当
山崎 一平	三菱日立パワーシステムズ(株) 本社
本名 和彦	三菱日立パワーシステムズ(株) 長崎工場
白川 良美	三菱日立パワーシステムズ(株) 高砂工場 マクセル(株)
萩谷 嘉昭	三菱日立パワーシステムズ(株) 呉工場
溝口 和雄	日立製作所サービス&プラントフォームビジネスユニット 大みか事業所
豊田 裕樹	日立インダストリアルプロダクツ 大みか事業所
石崎 英雄	日立オートモティブシステムズ(株) 福島事業所
鈴木 秀一	日立インダストリアルプロダクツ 日立工場
中河原光男	日立オートモティブシステムズ(株) 日立事業所
相良 浩	日立オートモティブシステムズ(株) 群馬事業所
高橋 秀和	日立ハイテクマニファクチャリング&サービス
鈴木 常男	日立グローバルライフソリューションズ(株) 多賀事業所
秋元 利之	日立パワーソリューションズ
金澤 章	日立オートモティブシステムズ(株) 山梨事業所
齊藤 慎	日立金属(株) 桶川工場
五来 稔	日立製作所 鉄道ビジネスユニット 水戸交通システム本部 日立ビルシステム
鈴木 巧	日立インダストリアルプロダクツ 土浦事業所 日立金属ネオマテリアル
湯ノ口 覚	日立化成(株) 五井事業所
松崎 修	日立金属(株) 茨城工場
北山 紀之	日立ハイテクノロジーズ 那珂地区生産本部
三好 政利	三菱日立パワーシステムズ(株) 日立工場
飯塚 賢一	日立オートモティブシステムズ(株) 厚木事業所
宮本 弘行	日立製作所 原子力ビジネスユニット/電力ビジネスユニット 日立事業所
南口 隆	日立化成(株) 下館事業所
松島 清美	日立建機(株)
星野 文一	日立産機 多賀事業所、勝田事業所
遠島 充	日立化成(株) 山崎事業所
小室 尚子	日立ハイテクノロジーズ 那珂地区生産本部
吉岡 勉	日立オートモティブシステムズ(株) 山梨事業所
高橋 啓	日立オートモティブシステムズ(株) 厚木事業所
和田 直樹	日立ニトランスミッション
杉山 浩	日立オートモティブシステムズ(株) 佐和事業所

～ぜひ、ご家族やお知り合いにオススメください！～
中学3年生の皆さんへ

日立工業専修学校
(略称：日専校)



2020年度 新入生募集



日立工業専修学校

(科学技術学園高等学校日立)

高等専修学校
全日制(3年)
男女共学



電気科



機械科



溶接科

「日専校」は、あなたを待っています

- ・卒業生は日立グループに就職
- ・学費、寮費、食費負担なし(就学支援金利用可能の場合)
- ・技能五輪全国大会出場(7年連続)
- ・国家技能資格(旋盤2級・JIS検定等)を取得
- ・全寮制・全員部活動
- ・ニュージーランド海外研修(自己負担なし)
- ・高等学校卒業資格取得

募集人員	約65名
応募資格	2020年3月中学校卒業見込みで ①モノづくりに興味を持つ方 ②本校を第一志望とする方
願書受付	2019年11月14日(木)～22日(金) 郵送必着
試験科目	面接・学力試験(数学・国語・英語)
試験日	①学力試験：2019年12月4日(水) ②面接：2019年12月4日(水)と5日(木)のいずれか1日
試験会場	茨城(日立市本校)、東京(上野)、宮城(仙台)
合格発表	2019年12月16日 本校ホームページに合格者番号掲載
入学確約	2020年1月8日までに就学諸経費140,000円納入

モノづくりをしたい中学生集合!

【体験入学会】

7/20(土), 7/22(月), 8/31(土), 10/12(土)

【ふれあい進路相談会】

6/22(土), 6/29(土)

【学校見学】

随時受け付けています。
(事前にご連絡ください)



達人による
個別指導



仲良く実用英会話



燃える海外研修
(ニュージーランド)



技能五輪全国大会出場

【問合せ先】

〒316-0032 茨城県日立市西成沢町2-17-1
株式会社日立製作所 日立工業専修学校 募集グループ

TEL 0294-28-5009 FAX 0294-28-5391
E-mail boshu@hitachi-tech.ac.jp

お気軽にメールでご質問、ご相談ください



▼この度、本部総会に参加した。代表謝辞の蝶野さんの挨拶を聞きながら自分達の学校生活を重ね、色々な思い出が蘇った。学校時代の仲間、良いこと悪いこととの全てが今の自分を築いてくれた。仲間、絆が大切な財産であると改めて実感できた。▼2019年度の同窓会活動が始まり、親しい仲間が役を降り、新しい仲間が加わり、これからは益々みんなで楽しく同窓会活動を頑張ろうという気持ちになった。

(のぶ)

▼5月1日、元号が平成から令和へと改元された。昭和から平成に改元された当時、私は日専校1年生であったが、昭和天皇の崩御により国民全員が喪に服す中で改元された平成の幕開けは、高校ラグビーや高校サッカーの決勝戦が自粛されるなど、とても暗い空気であったことを思い出す。一方、令和はお祭りムードの中での華やかな幕開けであり、まさに新しい時代を迎えるにふさわしい改元であった▼昭和最後の1年生を温かくご指導くださったのは、今回在会30年表彰を受けた74卒の先輩方である。当時から導入教育に関する変革があったことは伺っていたが、代表謝辞の中で語られたようにこれほどまでの葛藤があったことは31年経って改めて知らされた。おかげで76卒は五月連休明けの落伍者を出さずにすんだのである。当時のご苦勞に改めて感謝申し上げます。(昇)